

キルトジャパン Quilts Japan

2011年1月138号 針休めの針仕事

フェルトボールで作るミニ手まり

大西淳子

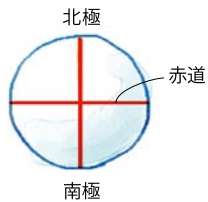
●用意するもの●

- 直径2cmのフェルトボール…各色適宜
- ステッチ糸…各色適宜
- 手まり針 (長いサイズの手まり専用針または、フランス刺しゅう針No.3がおすすです)
- ビーズ・スパンコール…各適宜

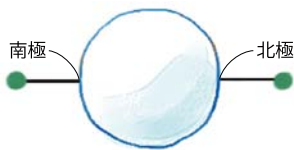


撮影/渡辺淑克 スタイリスト/植松久美子 イラスト/小池百合穂

ミニ知識



手まりの土台となる、フェルトボールを丸い地球に見立てて、上部を北極、下部を南極、中央を赤道と呼んでいます。



ボールの左右にまち針を刺し、転がして中心を決めます。一方を北極、もう一方を南極とします。

刺し始め

- 1 玉結びはしないままボールに針を刺し、約1.5cmすくって針を出します。
- 2 針を引き抜き、糸端はボールの中に引き込みます。
- 3 ②で引き抜いた糸の際から針を入れ、①の刺し始めの近くに約1.5cmすくって針を出し、糸を輪の中に引き込みます。
- 4 位置をずらして③をもう一度くり返し、刺し始めの位置に出します。

刺し終わり

- 1 ボールにする刺しゅうが終わったら、針を引き抜きます。
- 2 ①で出した糸の際に針を差し入れて、約1.5cmはなれたところに針を出します。これをもう一度くり返して引き抜き、ボールの際で糸を切ります。

ミニ手まりA

- 1 ボールの北極点の近くから針を出し、北半球に均等に6本ストレートステッチを刺します。
- 2 1の北極点の位置にフレンチノットステッチを刺し、放射状の糸の間にビーズを3粒ずつ6か所縫い止めます。
- 3 赤道の位置に刺しゅう糸を5回巻き、刺し終わりの始末の要領で縫い終わります。
- 4 赤道の位置に巻いた糸の幅に合わせて、竹ビーズ6か所縫い止めます。南半球も1、2と同様に刺しゅうをしてでき上がりです。

ミニ手まりB

- 1 図のように、北極の位置にストレートステッチを刺します。
- 2 図のように、赤道の位置に一回りクレタンステッチを刺します。
- 3 好みのビーズでクレタンステッチに刺して飾ります。南半球も1と同様に刺しゅうをしてでき上がりです。